

高松スポーツ推だより

臨時号

高松市スポーツ推進委員連絡協議会
主催 自発研修会

平成27年4月5日(日)
於：高松市西部体育館

会長 城門 政文

平成27年4月5日に、高松市西部体育館において、高松市スポーツ推進委員連絡協議会主催の研修会を2部構成にて行いました。午前中に「ダイヤゾーン・ボール」競技規則の改正に伴う全体における規則の習得、午後は「AED」の取り扱いも含めた初期救急法の自発研修会を実施しました。従来は、主催者があり我々は研修に参加し、知識などを得ていましたが、今回は、体育館の利用調整に始まり、経費面においてもすべて委員皆様の会費の中からの負担をいただきました、多大なるご理解、ご協力のもとに実施することができました。今回の研修会が今後の活動に、生かすべき取り組みが大きな意味を持つと思われれます。

「二つ目」が、スポーツ大会の「ダイヤゾーン・ボール」です、27年度より市民スポーツフェスティバルの種目になり、我々連絡協議会が、企画、立案、募集、運営のすべてに主催者として当たります、その為には全員で審判もしなければなりません、会場全体が一つのルールにおいて同じジャッジがされること、ベストであり、参加者の信頼も生まれると思います、まさに初心に帰った研修会です。



「二つ目に」、26年度にスポ推連合の受託事業として実施した、「ファミリー健康体力向上事業」いわゆる、(体力測定会)子どもから高齢者までを対象にしたものです。この組織の最大の強みは、連絡協議会の中には9名の「コーディネーター」が在籍しており、いつでも、アドバイザーの、認定会が実施できる体制が整っています。

将来に渡り連絡協議会の在り方を考えた時に、今のままの、主管事業・参加するのみの研修会では充分な住民プログラム、サービスが厳しいと思います。今後、連絡協議会は元より委員一人一人が主催者となり自己研鑽に努め、活発な議論をしていく中で方向性を見出せば良いと思います。今回の研修会がこれからの連絡協議会の活動の中心になるべき努力を重ねてまいります。引き続き委員の皆様の多大なるご支援、ご協力をよろしく願います。

めざせ

オンリーワン!!

研修会を実施して・・・

平成27年4月5日（日）
於：高松市西部体育館

初めての自発研修として実施した「ダイヤゾーン・ボール規則」改訂&初期救急救命法（AED）の研修会について、参加者の代表として理事の方々に感想及び意見を述べていただきました。

副会長 川西 裕

AED講習、平成20年以来的の連絡協議会での講習。過去数回受講しているものの頭中と実際では大違い。1期2年間の間に一度は研修すべきだと痛感しました。

ダイヤゾーン・ボール規則研修、大会の開催に向けて、全員がルール・試合運営等を理解し、各コートでの判定・進行等を統一する良い機会だったと思います。時間が足りず終わってしまいました。今後とも機会を見てさらに研修すべきだと思っています。

副会長 森 綾子

本年度より「高松市スポーツフェスティバル」において「ダイヤゾーン・ボール」が実施種目に加わるようになりました。その

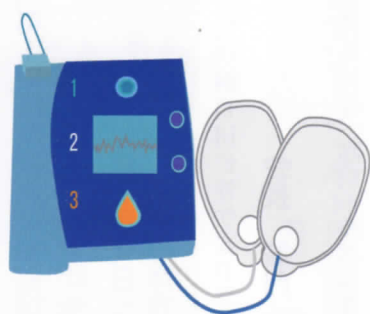
ため大会規則等の確認を行いました。

色々な事案の対処、対応に活発な意見が出ました。スポ推全員が真剣に取り組んでいる熱意を感じました。「ダイヤゾーン・ボール」が些か下火になっている「高松市スポーツフェスティバル」の発火剤になることを願います。

理事長 福家 誠

スポ推研修の一環で、ダイヤゾーン・ボール規則&AED研修を行いました。ダイヤゾーン・ボールは簡単な競技のようですが、かなり奥が深く、委員みんなで意見を出し合い、コート設営&ルールの統一等が図れたと思います。

AED講習では、日頃あまり出くわさない場面であろう時に、果たして冷静に対処し、AEDを使いこなせるか、考えさせられました。定期的なこのような研修会が必要だと思っています。



副理事長 柳川 邦江

4月5日に特別研修として今年度の市民フェスティバルに正式種目となったダイヤゾーン・ボールのルール実技審判研修と、救急救命講習の2科目が西部運動公園体育館で実施されました。特にダイヤゾーン・ボールの審判実技研修では様々な意見が飛び交い、短い時間の中で、凝縮された充実した研修を行いました。久々の救急救命講習では、真剣な眼差しでAEDの取り扱いに取り組みました。

いざと言う時の為には、きちんと身に着いた行動が大切だと改めて痛感しました。

第1ブロック理事 森 千佳子

ルールブックが新しくなりました！

午前中は、「ダイヤゾーン・ボール規則」の研修会、2グループに分かれコートの設営から一つ一つ確認していきました。「こんな場合は、どうなん？」ゾーンの中で、「味方のボールがここにある時、自分のボールが当たって入ったらストライク成立やろ？」

「ストライク言ってなかったらダメやろ。」「じゃあ、こんなんは？」ゲート、支柱前のボールを横に打って移動させる。



「進行方向やないから、横打ちは、いかなやろ!」でも、ホール前だと全部進行方向やで!!」…etc

みんなで出し合った意見に、会長や部長・部員・スポ推とスクラムを組んで討議し充実した内容の研修になりました。日頃使っていない頭の中は、ショートして湯気が出そうでした。

午後からは、AED講習会で、西消防署の方が各グループに就き、「大丈夫ですか?」「わかりますか?」の声掛けから基本的な実習が始まりました。

「AEDが近くに無かった場合は、胸部圧迫が有効な方法で、救急車が到着するまで、人工呼吸と合わせて繰り返し行う事が大切です。」とアドバイスがありました。実際現場に遭遇した時、適切な処置をする自信はまだありませんが、何かお手伝い出来るよう心掛けたいと思います。今後、講義だけでなく実践的な研修や講習も取り入れてほしいです。

参加された皆さん一日お疲れさまでした。



第1ブロック理事 中 健二

4月5日(日)西部運動センターに於いてスポーツ推進委員独自の研修会が行われた。

午前中のダイヤゾーン・ボールについては、入場から整列・コート設営の方法まで、ルールをいちらから見直し研修を行った。城門会長、瀬川部長から詳細にわたり説明と実際に起こりうる問題の実技研修と対策の方法を受けました。今まで通りで行うルールと改正して取り除いても良いルールの見直しがあり、内容の濃い研修となりました。

午後からは、AEDの講習会がありました。高松西消防署の方がAEDの使用方法和心肺蘇生の方法を指導してくださいました。すぐには出来ると思わないので、機会があれば何回でも受講したいです。

第2ブロック理事 西川 良二

今回の研修会では、改訂版の競技規則を読んだだけでは分からない部分

(ゲートの設置方法・2重線となったスタートライン上のボール位置等)も確認されました。

スポーツフェスティバルに向けて全員が共通知識を持つため、今回やむを得ず

欠席した委員も次回の研修会には必ず出席して頂きたいと思います。

第2ブロック理事 岡本 志津代

ダイヤゾーン・ボール規則の細かな部分を、きめ細かく知る事ができて、今後の地区活動に役立つ、有意義な研修会でした。

又、AED講習では、私は上手く出来なかったのですが、今年、地区で行うAED講習の時に再度練習しようと思いました。

第3ブロック理事 齊藤 信博

4月5日に、西部運動センター体育館で実施されたダイヤゾーン・ボール研修において、進行方向と逆方向への打球について、熱い議論が交わされ、競技規則が見直されことになりました。今研修での確認事項を、自地区へ持ち帰り、9月の本大会に臨みたいと思います。



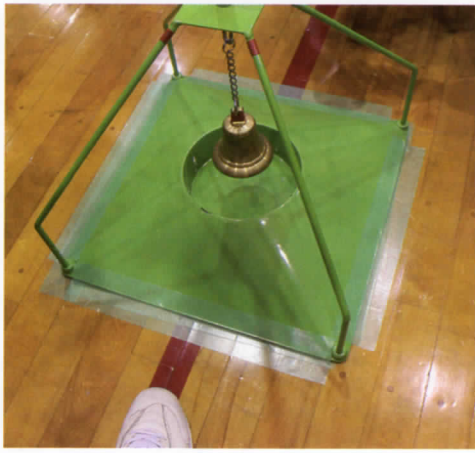
第3ブロック理事 泉川 美喜子

桜咲き、お花見頃の日、ダイヤゾーン・ボール競技規則改定での研修があり、コート作りから、確認・質疑応答と時間をも忘れて行いました。

午後からは、救命講習、AED手当の心得などについて学び、入門コース参加証をいただき有意義ある一日でした。

第4ブロック理事 宮脇 靖子

ダイヤゾーン・ボール規則&AED研修に参加して、ダイヤゾーンボールのルールを時間をかけて講習して頂き、理解できていなかった事がわかり大変勉強になりました。9月のフェスティバル時に忘れないようにルールブックに目を通しておきます。



ソフトボール担当部長 溝渕 功

スポーツフェスティバル大会開催に向けて規則統一の確認が推進委員全員でできたことが非常によかったと思います。また、AED講習会については、AEDの正しい取扱いについてしっかり理解できました。

バレーボール担当部長 山城 雅彦

「ダイヤゾーン・ボールの研修は競技規則についての検討及び確認を主とする内容できちんとした統一ルールを作り上げるという点で充実した話し合いが進められ、大変有意義なものとなりました。」

AED講習については過去に受講したことがありましたが変更点や忘れていた事などがあり今後も定期的に受講したいと感じました。」

ダイヤゾーン・ボール担当部長 瀬川 栄文

主管大会の種目担当者でありながら4回大会以降しか知らないため、それ以前の大会や高松導入前の島根に行っていた頃が全く判らないため、会長の知りうる全てのルールを出して頂いて

改訂版の競技規則が完成したものの、担当部長として全員に周知する上で納得できていない部分もありました。

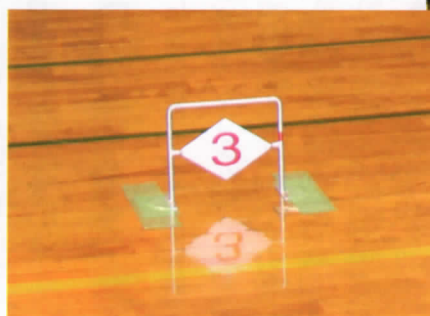
まさか説明役が回ってくるとは思わず当日会場に行ったので、自分でも納得いかない部分に関しては会長を呼んで自分でも納得しながらとなつてしまいました。結果として霧に覆われていた視界が晴れ渡った感じがしています。

午後からのAEDの講習、そういう場面に遭遇しないことが一番なのかもしれませんが、もしそうなった場合は積極的に心臓マッサージやAEDの処置も実施したいと思っています。

広報部部長 今井 由美子

定例会時の限られた時間の中での研修会と違い、時間を気にせずに十分な研修をとの思いで一日間を予定しての研修会でしたが、参加者の熱のこもった討議にやっばりもつと時間をとてわされた一日でした。新しくなった「ダイヤゾーン・ボール規則」を基に「高松市スポーツフェスティバル」はもとより各大会に於いてより確かな運営ができればと思います。

救命救急(AED)講習は、せめて任期中に一度は必ず受講すべきだと思います。



発行／高松市スポーツ推進委員

連絡協議会

編集人／城門 政文

編集／広成 報社

印刷所／万成 報社

題字・高松市長 大西 秀人